

岐阜県立高等学校活性化計画策定委員会 <審議まとめ> 概要

I 基本理念

県内の各地域（学区）において、同じような水準で、「第2次岐阜県教育ビジョン」に示された3つの能力の育成を目指すことができるよう、各地域（学区）において、高校の特性や学科配置のバランス等を考慮した教育環境を整備し、魅力ある高校づくりを推進する。

「第2次岐阜県教育ビジョン」に示された3つの能力 ⇨ **リーダー性やグローバルな能力** **社会経済の基盤を担う能力** **自立して社会生活を営む基礎的能力**

II 審議内容

リーダー性やグローバルな能力

- ・世界や日本、地域社会でリーダーシップを発揮できる能力
- ・国際的な視野や語学力、自国やふるさとを愛する気持ちと多様性を認める力

社会経済の基盤を担う能力

- ・「地域社会人」として、地域で活躍できる能力や技術
- ・多様な進路目標に向かい自立と自己実現を図ることができる力

自立して社会生活を営む基礎的能力

- ・地域社会で自立するための基礎的な能力
- ・多文化共生社会の推進のために、コミュニケーション能力や共生する力

1 魅力ある高校づくり

【普通科高校・普通科系専門学科の特色化】

- 理数科等
→ 課題探究型学習を推進する探究科(仮称)へ改編
- 英語以外の外国語を第2外国語として設定し、国際理解を図る学習を期待(普通科高校以外の高校を含む)
- 国際バカロレアについて、コースの設置を含め研究
- 学力中間層の生徒が多い普通科高校
→ 生徒や保護者の多様なニーズに対応できる仕組みの構築(選抜クラスの設置等)が重要

【普通科高校・普通科系専門学科の特色化】

- 進路先が多様な普通科高校 → キャリア教育を重視し、デュアルシステムの導入や総合学科への改編

【総合学科】○ 地域(学区)に少なくとも1校(併置校を含む)配置

【産業教育の改善・充実】

- 地域(学区)に少なくとも1校(併置校を含む)配置
- 産業構造の変化等による新たなニーズに対応する学科等の研究

【定時制・通信制高校の改善・充実】

- 多部制(午前・午後・夜間)高校への改編や新設

【外国人生徒への支援】

- 要日本語指導外国人生徒を積極的に受け入れる学科等の設置

【学校間及び地域との連携】

- 高校と特別支援学校等との連携
- 地域が高校と積極的に関わる仕組みや取組について検討

※ その他

- ・併置型中高一貫教育校等については、今後の国の動向(大学入試改革等)を注視しながら、県民ニーズの変化を改めて確認・継続検討
- ・総合教育センターとの連携校については、岐阜県総合教育センターの将来的な在り方とともに検討

「1 魅力ある高校づくり」に関する審議内容を踏まえ、「2 高校の枠組みの見直し」について検討

2 高校の枠組みの見直し

【望ましい学校規模について】 ◆ 1学年4～8学級を望ましい学校規模とすることは適当(望ましい学校規模の下限を下回る高校については再編統合検討対象校とする)

【再編統合検討対象校について】 **グループ1(10校)**: 現在3学級以下又はH31までに3学級となることが見込まれる高校(不破、郡上北、八百津、東濃、瑞浪、土岐紅陵、恵那南、坂下、高山工業、飛騨神岡)

- ◆ 地域が高校とより主体的・積極的に関わる形(協議会等設置)で学校ごとの活性化策を検討・実施・検証
- ◆ 再編統合に関する基準が必要

グループ2(9校): H32からH40までに3学級となることが見込まれる高校(山県、揖斐、池田、海津明誠、関有知、恵那農業、中津商業、中津川工業、吉城)

- ◆ 原則として、現在の取組を今後も維持・発展

【再編統合検討対象校以外の高校について】 ◆ 単位制や総合学科への改編、設置学科やコースの整理等、高校の特性に応じた活性化策を検討、実施

各地域(学区)において、高校の特性や学科配置のバランス等を考慮した教育環境を整備し、魅力ある高校づくりを推進

※ H28年度に、「審議まとめ」の趣旨を踏まえ、県教育委員会が「岐阜県立高等学校活性化計画(仮称)」を策定(予定)